

北九州市上下水道事業中期経営計画2025 将来像1 市民生活を支える強靱な上下水道をつくる

青枠は、資料1の掲載項目

ハード面の取組

ソフト面の取組

| 重点施策 | 実施事業 | 中期分野 頁 | 主な取組 | R2年度までの実施状況 【R3~R7目標】 |
|--------------------------|--------------------------------------|--|--|---|
| 1-1 上下水道施設の長寿命化と改築・更新 | 1-1-1 アセットマネジメント手法を活用した効率的・計画的な更新 | 上水資料編 6頁 | 浄水施設の長寿命化 浄水施設の劣化調査に基づき、適切な補修や補強を行い、長寿命化を図る。 | 浄水施設の長寿命化： 穴生浄水場6施設 【R7：本城浄水場 5施設】 |
| | | 上水資料編 6頁 | 浄水設備の更新 経年劣化した浄水設備の更新を計画的かつ効率的に実施する。 | 電動弁や流量計などの更新：計画に基づき実施中 【R7：継続】 |
| | | 上水資料編 7頁 | 配水池の長寿命化 配水池の劣化調査を実施し、結果に基づき、適切な補修や補強を行い、長寿命化を図る。 | 配水池の長寿命化：4箇所 【R7：9箇所】 |
| | | 上水資料編 7頁 | マッピングシステムの機能強化 既にマッピングシステムを導入している管路情報に加え、配水池など配水施設6項目についても一元化し、効率的な更新を図る。 | 紙などによる個別管理 【R7：システムで一元管理】 |
| | | 上水資料編 8頁 | 導送水管及び配水管の更新 経年劣化した導送水管の更新を計画的かつ効率的に実施する。 | 導送水管の更新：7.5km 【R7：6.7km】 配水管の更新：235km 【R7：185km】 |
| | | 上水資料編 9頁 | 漏水調査 漏水の早期発見に努め、漏水量を削減する。 | 漏水率：6.1% 【R7：6.0%以下】 |
| | | 工水資料編 33頁 | 工業用水道管路の更新 経年劣化した工業用水管の更新を計画的かつ効率的に実施する。 | 工業用水道管路の更新：5.2km 【R7：4.3km】 |
| | 下水資料編 39頁 | 浄化センター・ポンプ場の更新 日常の点検・調査や運転業務を通じて、電気・機械設備機器の特性など把握しながら、計画的に改築・更新を進める。 | 浄化センター・ポンプ場の更新：計画に基づき実施中 【年平均24設備の改築・更新】 | |
| | 下水資料編 40頁 | 下水道管渠の点検調査 管渠の重要度などに応じて、目視やテレビカメラ等による点検・調査を計画的に実施する。 | 下水道管渠の点検調査：年91km 【年110km】 | |
| | | 下水道管渠の改築・更新 硫化水素により腐食が進行しやすい管渠等を対象に、管渠の改築・更新を計画的に進める。 | 下水道管渠の改築・更新：年18km 【年23km】 | |
| | 1-1-2 上下水道施設の規模の最適化 | 上水資料編 10頁 | 配水池の統廃合 水需要が低下する配水池や更新時期を迎える配水池を対象に、統廃合を進める。 | R2年度まで実績なし 【R6年度末：尾倉配水池の廃止】 |
| | | 下水資料編 41頁 | 皇后崎・北湊処理区の再編 企業立地などによる流入水量の増加に対応するため、東中島ポンプ場の能力増強を図るとともに払川ポンプ場と東中島ポンプ場を結ぶ新たな下水道管を整備する。 | 再編検討中 【R7：再編完了】 |
| | | 下水資料編 41頁 | 皇后崎浄化センターの再構築 躯体の劣化が著しく進行している皇后崎浄化センターの改築・更新にあわせて、第一処理場の機能を第二処理場に集約化する。 | 再構築検討中 【R7：第二処理場3系統のうち1系統の集約化】 |
| | | 下水資料編 42頁 | 中川通ポンプ場の移転改築 躯体の劣化が著しく進行している中川通ポンプ場について、近隣のポンプ場との統廃合を視野に入れながら、移転改築を進める。 | 移転改築検討中 【R7：工事着手】 |
| 下水資料編 42頁 | | 施設規模と機能の最適化 将来の下水道施設の改築・更新需要を見据え、新町・日明浄化センターや大手町・港町・浅野町ポンプ場等を対象に、施設規模と機能の最適化に向けた検討を行う。 | 未実施 【R7：検討着手】 | |

| 重点施策 | 実施事業 | 中期分野 頁 | 主な取組 | R2年度までの実施状況 【R3～R7目標】 |
|-----------------------|--|--|--|---|
| 1-2 豪雨対策の 拡充・強化 | 1-2-1 浸水被害の 最小化 | 下水 資料編 43頁 | 重点整備地区の雨水整備 近年、局地化・集中化する豪雨から市民の生活を守るため、「浸水リスク」や「都市機能集積度」を定量的に評価したうえで、新たに「重点整備地区（16地区）」を設定し、より一層効果的な雨水整備を進める。 | 16地区のうち 3地区の整備実施中 【R7：9地区の整備完了】 |
| | 1-2-2 | 上水 資料編 11頁 | 水道施設の浸水・土砂災害対策 ハザードマップ等に基づき水道施設の浸水・土砂災害対策を実施する。 | 浄水・土砂災害想定施設の詳細調査 【R7：5箇所実施】 |
| | 上下水道 施設の豪 雨対策 | 下水 資料編 44頁 | 下水道施設の浸水対策 浸水リスクの高い下水道施設を対象に、浸水被害による影響を最小限に抑えるため、ハード、ソフトの両面から、浄化センター・ポンプ場の耐水化を推進する。 | 耐水化計画策定実施中 【R7：完了】 |
| 1-3 震災対策の 拡充・強化 | 1-3-1 上下水道 施設の耐 震化 | 上水 資料編 12頁 | 浄水場の耐震化 想定される最大規模の地震にも耐えられるよう本城浄水場の耐震化を図る。 | 浄水場の耐震化率：59.2% 【59.2%】 |
| | | 上水 資料編 13頁 | 配水池の耐震化 皿山、小熊野第1配水池の耐震化を図る。 | 配水池の耐震化率：54.1% 【R7：60.1%】 |
| | | 上水 資料編 13頁 | 危険箇所整備 水道事業用地の危険箇所の危険度評価を行い、評価に応じた整備を行う。 | 水道事業用地の危険箇所整備： 8/10箇所 【R7：10/10箇所】 |
| | | 上水 資料編 14頁 | 基幹管路の耐震適合率の向上 基幹管路（導送水管、配水本管）の耐震化を進める。 | 基幹管路の耐震適合率：46.8% 【R7：51.6%】 |
| | | 上水 資料編 14頁 | 広域避難地等に至る配水管の耐震化 広域避難地（24箇所）災害拠点病院（9箇所）への配水管の耐震化を図る。 | 広域避難地等に至る配水管の 耐震化：16箇所 【R7：26箇所】 |
| | | 工水 資料編 34頁 | 工業用水道管路の更新 管路の更新にあわせて計画的に耐震化を図る。 | 工業用水道管路の 更新（耐震化）：5.2km 【R7：4.3km】 |
| | | 下水 資料編 45頁 | 浄化センターの耐震補強 日明、皇后崎浄化センターの最初沈殿池の耐震化等を進める。 | 実施中 【R7：日明・皇后崎 最初沈殿池の耐震化 一部完了】 |
| | 下水 資料編 45頁 | ポンプ場の耐震補強 浄化センターに近接するポンプ場や災害拠点病院などからの排水を受けるポンプ場など、重要な15ポンプ場の耐震化を優先的に進める。 | 重要な15ポンプ場の耐震化率： 6.7% 【R7：73.3%】 | |
| | 下水 資料編 46頁 | 重要な管渠の耐震化 北九州市下水道総合地震対策計画に基づき、重要な管渠の耐震化を改築・更新とあわせて進める。 | 重要な管渠の耐震化率：47.7% 【R7：50.7%】 | |
| | 1-3-2 バック アップ機 能の強化 | 上水 資料編 15頁 | 送水管の2条化 安定給水確保を目的とし、バックアップ機能の強化を図るため、八重洲分岐～城野分岐送水管の2条化を進める。 | 八重洲分岐～城野分岐送水管の 2条化：0.5km 【R7：1.6km】 |
| 上水 資料編 15頁 | 井手浦配水本管のループ化 安定給水確保を目的とし、バックアップ機能の強化を図るため、井手浦系配水本管のループ化を進める。 | 井手浦系配水本管のループ化： 0.4km 【R7：0.5km】 | | |

| 重点施策 | 実施事業 | 中期分野頁 | 主な取組 | R2年度までの実施状況【R3~R7目標】 |
|---------------------|-------------------------------|----------------------|---|---|
| 1-4 危機管理体制の充実・強化 | 1-4-1 事故対応能力の向上 | 上下共通 上16頁 下47頁 | <p>模擬事故訓練・危機管理研修の実施</p> <p>職員の事故対応能力の向上を図るため、上下水道局一体として、模擬事故訓練や危機管理研修を実施する。</p> | <p>実施中 【R7：継続】 全体 模擬事故訓練1回/年 水道 模擬事故訓練2回/年 危機管理研修3回/年 下水道 模擬事故訓練1回/年 危機管理研修1回/年</p> |
| | 1-4-2 民間事業者や他都市等との連携強化 | 上下共通 上17頁 下48頁 | <p>民間事業者や他都市等との連携強化</p> <p>危機管理体制の充実・強化を図るため、日本水道協会の支援体制の活用や大都市、北九州管工事協同組合等の民間事業者と連携して合同での模擬事故訓練を実施する。</p> | <p>実施中 【R7：継続】 水道 日水協 合同防災訓練1回/年 日水協 情報伝達訓練1回/年 大都市 情報伝達訓練1回/年 下水道 民間事業者との訓練1回/年 大都市 情報伝達訓練1回/年 他都市との訓練1回/年</p> |
| | 1-4-3 停電対策 | 上水資料編 18頁 | <p>非常用発電設備の整備</p> <p>停電の影響を受ける危険性が高い施設に非常用発電設備を整備する。</p> | <p>非常用発電設備整備：8/16箇所 【R7：15/16箇所】</p> |
| | 1-4-4 災害時における機能確保の推進 | 上水資料編 19頁 | <p>応急給水施設の整備</p> <p>大規模な断水となった場合に備え、浄水場や各区の拠点配水池など、計14箇所を備蓄施設と位置づけ、全市民の約1週間分の飲料水を確保する。</p> <p>給水袋の備蓄</p> <p>迅速かつ適正な応急給水活動が行えるよう、仮設水槽や非常用給水袋等を備蓄する。</p> <p>給水車の運転資格取得支援</p> <p>運転資格取得の支援を行い、給水車の運転ができる職員の確保を図る。</p> | <p>応急給水施設の整備：5箇所 【R7：13箇所】</p> <p>非常用給水袋（6ℓ）備蓄：5万枚 【R7：5万枚】</p> <p>給水車の運転資格取得者：10人 【R7：25人】</p> |
| | 1-4-5 自助・共助の促進に向けたソフト施策の充実 | 下水資料編 50頁 | <p>マンホールトイレの整備</p> <p>大規模地震時などにおいて、避難地でのトイレ機能を確保するため、広域避難地を対象にマンホールトイレを整備する。</p> | <p>6箇所整備 【R7：11箇所整備】</p> |
| | 1-4-5 自助・共助の促進に向けたソフト施策の充実 | 下水資料編 50頁 | <p>内水浸水想定区域図の拡充</p> <p>豪雨災害時に市民が迅速な行動がとれるよう、防災・河川部局などと連携しながら、重点整備地区（16地区）を中心に内水浸水想定区域図の拡充を図る。</p> <p>広報活動の拡充</p> <p>市政だよりやホームページ、出前講演などを通じて、「豪雨への備えについて」の広報を積極的に行う。</p> | <p>実施中 【R7：16地区の拡充完了】</p> <p>実施中 【R7：継続】 出前講演 2回/年</p> |